

公1 青少年の読書活動を振興するための活動の普及及び啓発事業

ア 図書の選定

1. 学校図書館向き図書の選定……………【選定部】…(1)
小・中・高等学校図書館向き図書を選定する「図書選定会議」を実施した。「図書選定会議」は4/10, 5/8, 5/22, 6/12, 6/26, 7/10, 7/24, 8/28, 9/11, 9/25, 10/10, 10/23, 11/13, 11/27, 12/11, 1/9, 2/13, 2/26, 3/12, 3/26（20回）開催した。全国学校図書館協議会（以下、「全国SLA」という）が委嘱する選定委員が学校図書館向き図書を「全国学校図書館協議会選定図書」として5,308点を選定した。その結果は機関紙『学校図書館速報版』で随時発表した。「全国学校図書館協議会選定図書」の中から事業ごとに選定委員を委嘱して以下の図書も選定した。

イ 読書調査

1. 「学校読書調査」の実施……………【調査部】…(2)
青少年の読書推進や読書環境整備等に資するため、読んだ本の量、読んだ本の題名、読書生活などの実態を調べる「第63回学校読書調査」を毎日新聞社と共催で実施した。この調査は、全国から抽出した小学生3,240名・中学生3,070名・高校生3,614名の9,924名を対象に6月第1・2週に実施した。結果は機関誌『学校図書館』2017年11月号で公表した。
2. 「学校図書館調査」の実施……………【調査部】…(2)
学校図書館の整備充実を図るため、学校図書館の蔵書、予算、職員、運営等の実態を調べる「2017年度学校図書館調査」を実施する。この調査は、全国の小・中・高等学校から3%無作為抽出1,168校を対象に6月に実施した。結果は機関誌『学校図書館』2017年11月号で公表した。
3. 市区町村における学校図書館図書整備費予算化の実態調査の実施……………【調査部】…(2)
学校図書館整備推進会議と共催して、全国の市区町村教育委員会に対して、平成29年度の学校図書館図書の整備費約220億円を予算化するよう要請するとともに、全国1,741市区町村教育委員会（悉皆調査）に対する予算化状況のアンケートを5月に実施し、1,027教育委員会（回収率59.0%）から回答を得た。結果は機関誌『学校図書館』2018年4月号で公表した。

ウ 機関誌発行

1. 機関誌『学校図書館』及び『学校図書館速報版』の刊行……………【編集部】…(5)
機関誌『学校図書館』（月刊）及び『学校図書館速報版』（月2回）を定期的に刊行する。『学校図書館』は、学校図書館や青少年の読書に関する実践や研究論文等を中心に掲載した。『学校図書館速報版』は、学校図書館や読書に関する最新ニュース、学校図書館メディアに関する情報等を掲載した。

エ 各種コンクール

1. 青少年読書感想文全国コンクールの実施……………【プロジェクト】…(1)
読書の習慣化を図り、豊かな人間性や考える力を育むことなどを目的とした「第63回青少年読書感想文全国コンクール」を毎日新聞社と共催で実施した。全国の25,847校から4,307,256編の応募があり、2月9日大手町の経団連会館で表彰式を行った。
①「青少年読書感想文全国コンクール 課題図書」
全国SLAが委嘱する選定委員により、同コンクールで主催者が指定する「課題図書」として、

「第 64 回青少年読書感想文全国コンクール 課題図書」を選定した。

2. 読書感想画中央コンクールの実施……………【プロジェクト】…(1)
読書の感動を絵画表現することで読書力や表現力を養うことを目的とした「第 29 回読書感想画中央コンクール」を毎日新聞社と共催で、山口県・九州地区を除く 38 都道府県で実施した。全国の 6,424 校から 688,429 点の応募があり、2 月 23 日に一ツ橋の如水会館で表彰式を行った。
 - ①「読書感想画中央コンクール 指定図書」
全国 S L A が委嘱する選定委員により、同コンクールで主催者が指定する「指定図書」として、「第 29 回読書感想画中央コンクール 指定図書」を選定した。

オ 優良図書の普及

1. 「日本絵本賞」の授賞……………【プロジェクト】…(1)
絵本芸術の普及、絵本読書の振興、絵本出版の発展に寄与することを目的に「第 23 回日本絵本賞」、「第 23 回日本絵本賞読者賞」を毎日新聞社と共催で授賞した。「日本絵本賞大賞」は『わくせいキャベジ動物図鑑』（tupera tupera/作・絵、アリス館）が受賞した。3 月 23 日に一ツ橋の毎日ホールで授賞式を行った。
 - ①「日本絵本賞読者賞 候補絵本」の選定
読者が投票する「日本絵本賞読者賞」の候補絵本を選定した。
 - ②「絵本週間」の実施
優れた絵本文化の発展と、学校や家庭への絵本読書の定着を目指して「絵本週間」を実施した。
2. 「夏休みの本(緑陰図書)」の選定……………【プロジェクト】…(1)
全国 S L A が委嘱する選定委員により、夏休み中に子どもたちにぜひ読んでほしい図書として、「第 50 回夏休みの本(緑陰図書)」を選定した。

カ S L B A の図書の選定

1. 「学校図書館図書整備協会(S L B A)選定図書」……………【プロジェクト】…(1)
全国 S L A の選定委員により、学校図書館の蔵書整備等を目的とした「一般社団法人学校図書館図書整備協会(以下「S L B A」という)」の委嘱を受けて「S L B A 選定図書」を選定した。

キ 学校図書館出版賞

1. 「学校図書館賞」の授賞……………【プロジェクト】…(1)
学校図書館に関する運動、論文、実践の 3 分野での優れた実績を顕彰する「第 47 回学校図書館賞」を鳥取大学附属特別支援学校に授賞した。引き続き「第 48 回学校図書館賞」を募集した。
2. 「学校図書館出版賞」の授賞……………【プロジェクト】…(1)
学校図書館向き図書の優良な出版企画に対して出版社を表彰することで学校図書館向き図書の出版の振興を目的とした「第 19 回学校図書館出版賞」を株式会社岩崎書店、株式会社大月書店、株式会社河出書房新社、株式会社帝国書院の 4 社に授賞した。

公 2 学校図書館を充実発展するための活動の普及及び啓発事業

ア 研究・研修会

1. 学校図書館担当職員のためのスキルアップ及びリカレント教育の実施……………【プロジェクト】…(1)
司書教諭や学校司書等を対象にした「学校図書館実践講座」を 4/22, 5/13, 5/27, 6/10, 6/24, 7/8, 9/9, 9/30, 10/14, 10/28, 11/25, 12/9, 12/16, 1/20, 1/27, 2/3, 2/24, 3/3, 3/24 の 19 回開催した。

☆ 2. 学校司書資格及び研修制度の研究の推進……………【プロジェクト】…(2)
 学校司書の法制化に対応しての資質の向上を図るための研修制度のあり方について検討し、平成30年度から「学校司書研修講座」を開催する予定である。

☆ 3. 「地区学校図書館研究大会」の開催……………【研究部】…(2)
 隔年で開催している地区学校図書館研究大会を次の9地区で開催した。

第42回北海道学校図書館研究大会	9月1日・9月2日	北海道札幌市
第38回東北地区学校図書館研究大会	11月9日・11月10日	岩手県盛岡市
第34回関東地区学校図書館研究大会	8月8日・8月9日	群馬県安中市
第29回北信越地区学校図書館研究大会	11月10日・11月11日	長野県長野市
第38回東海地区学校図書館研究大会	8月8日・8月9日	愛知県名古屋市
第45回近畿学校図書館研究大会	学校図書館セミナー(8月7・8日京都市)	
第30回中国地区学校図書館研究大会	11月16日・11月17日	鳥取県米子市
第28回四国地区学校図書館研究大会	11月9日・11月10日	愛媛県新居浜市
第38回九州地区学校図書館研究大会	8月3日・8月4日	大分県大分市

イ 資料・情報の提供

1. 写真ニュース『としょかん通信』の刊行……………【編集部】…(5)
 学校図書館や読書に関する情報及び学校図書館の利用に役立つ情報を掲示用写真ニュースとして、月刊『としょかん通信』(小学生版・中高生版の2種)を刊行した。
2. 各県SLAのWebサイト作成……………【プロジェクト】…(3)
 全国SLAのWebサイト上に各県SLAのWebサイトを開設し、県SLAの情報提供、研究会・研修会の募集、県SLA組織内の連絡等の利用に供した。
3. 『各県交換情報のWeb版』の作成と活用……………【プロジェクト】…(3)
 各県交換情報をWeb版にして、活用を容易にして各県SLAの情報の交換を容易にした。
4. 各県SLA作成の刊行物の監修・作成協力等の実施……………【プロジェクト】…(3)
 刊行物の監修・作成協力等により内容の充実と刊行物の普及に努めた。
5. メールマガジンの活用……………【プロジェクト】…(3)
 各県SLA及び会員へ速やかな情報配信のためにメールマガジンによる情報発信を活用した。
6. 『よい絵本』Web版の刊行……………【プロジェクト】…(5)
 絵本読書の普及を図るため、全国SLA絵本委員会の研究成果である絵本の解説目録『第28回よい絵本』を、Web版として全国SLAホームページ上に掲載、発表した。
7. 図書館総合展への参加……………【プロジェクト】…(1)
 図書館総合展において、当会の活動を広めるための広報活動を行う。
8. 研究成果の刊行普及啓発……………【プロジェクト】…(4)
 学校司書の仕事内容などを簡潔にまとめて、その役割や配置促進と活性化を促すための啓発書『「学校司書の役割」配置促進と活性化』(仮題)を刊行する予定であったが、未刊となった。
9. 啓発図書 of 刊行……………【編集部】…(5)
 - ① 『中・高校生向け読書案内』(仮題)の刊行
 機関誌で連載する中・高校生向けの読書案内を再編集して刊行する予定であったが、連載が継続しているので、未刊となった。
 - ② 『心に届く読み聞かせ：プロが教える読み方の基本』(仮題)の刊行

アナウンサーの目から見た読み聞かせの基本を紹介する単行本については、編集作業中である。

③『学校図書館の可能性：自ら考え、判断できる子どもを育てる』の刊行

渡邊重夫による単著を2017年8月に刊行した。

ウ 学校図書館の充実発展

1. 機関誌『学校図書館』及び『学校図書館速報版』の活用と普及……………【プロジェクト】…(3)
学校図書館に関する研究を深めるため、学校図書館活動推進委員や各県S L Aの協力を得て、機関誌『学校図書館』及び『学校図書館速報版』の活用と普及活動を行った。
2. 各県S L A事務局長会議の開催……………【プロジェクト】…(3)
全国S L Aの事業、組織、活動について連絡調整を図るため各県S L A事務局長会議を2018年2月8日(木)に開催した。
3. 全国S L A研究協力員制度の検討及び委嘱……………【プロジェクト】…(3)
全国S L Aが行う研究活動や研究成果の普及を図る「全国S L A研究協力員制度」について検討し、各県S L Aから研究、実践に熱心な教職員の推薦を受けて委嘱する予定であったが、推薦がなく、委嘱できなかった。
4. 各県S L Aへの研究助成……………【プロジェクト】…(3)
各県S L Aの研究活動を支援するために研究助成を行った。

エ 研究視察

1. 国内・海外学校図書館研究視察……………【プロジェクト】…(2)
本年度は実施しなかった。

オ 事業の活性化

1. 全国S L A「学校図書館スーパーバイザー」制度の拡充……………【プロジェクト】…(1)
全国S L A「学校図書館スーパーバイザー」による指導・助言により各地域や各校の学校図書館の活性化を図った。
2. 公益社団法人の財政再建……………【プロジェクト】…(6)
財政再建委員会の答申を更に「全国S L A再生委員会」で検討した「公益社団法人全国学校図書館協議会(全国S L A)再生の方策について」の答申をもとに、実行した。
3. 学校図書館報告会の開催……………【プロジェクト】…(6)
特別会員を招き、教育や学校図書館、情報メディアなどに関する報告会を2017年7月28日に文部科学省児童生徒課課長補佐草野純一氏を招いて開催した。また、2018年3月9日には、青山学院女子短期大学 教授 堀川照代 氏を招いて開催した。なお、「学校図書館報告会」の名称は従来の「学校図書館講演会」に戻す。
4. 学校図書館研究資料室の整備充実……………【プロジェクト】…(6)
学校図書館に関する資料の整備充実、コンピュータによる蔵書の管理と活用等の研究を進めた。

附属明細書

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」は、特に無い。